

2024 年度 DRP 検討委員会
第 3 回会合議事録 (案)

日時： 2024 年 10 月 28 日(月) 13:00～15:10

場所： オンライン

1. 議題：

1. 2024 年度第 2 回会合議事録 (案) の確認
2. パネリスト候補者を含む手続関係者向けの情報提供 (ガイド) と裁定文レビューについて (継続審議)
3. 本年度から 2025 年度にかけての活動計画について
4. その他

2. 資料一覧：

資料 1 2024 年度 DRP 検討委員会第 2 回会合議事録 (案)

3. 出席者(50 音順)(敬称略)

	氏名	所属
DRP 検討委員会 委員長	井上 葵	アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法 共同事業 弁護士
DRP 検討委員会 委員	卜部 晃史	弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所 弁護士
DRP 検討委員会 委員	早川 吉尚	立教大学 教授/弁護士
DRP 検討委員会 委員	山口 裕司	大野総合法律事務所 弁護士 日本知的財産仲裁センター運営委員長
担当理事	曾根 秀昭	JPNIC 副理事長 DRP 担当
	中村 素典	JPNIC 理事 DRP 担当

JPNIC 事務局：是枝 祐、高山 由香利、根津 智子

4. 傍聴

株式会社日本レジストリサービス (JPRS) 1 名

5. 議事

13 時 00 分に井上委員長により開会された。

議題 1. 2024 年度第 2 回会合議事録（案）の確認

委員からは特段の意見はなく、原案のまま確定した。

議題 2. パネリスト候補者を含む手続関係者向けの情報提供（ガイド）と裁定文レビューについて（継続審議）

JP-DRP の手引きになるようなガイドとして「JP-DRP 解説」の改定と、2019 年以降の裁定文のレビューを進めるにあたり、次の点を確認された。

- 2024 年 9 月下旬に JP-DRP 裁定例検討専門家チームが組成され、すでに第 1 回会合を 10 月 16 日(水)に開催した。
- 専門家チームの第 2 回会合を 12 月 27 日(金) 10:00-12:00、第 3 回会合を 2025 年 2 月 21 日(金)に開催する予定である。
- 専門家チームのメーリングリストに不具合が生じており、その対応について JPNIC 事務局より説明を行った。
- 山口委員からは、2024 年度に新たに専門家チームに加わったメンバーを中心に裁定文のレビューを進めてもらうにあたり、レビュー対象リストに 2024 年度の事件も加える予定であること、また 12 月の会合までに山口委員が準備することになっている「JP-DRP 解説」の改定ドラフトについては、準備を進めて追って共有予定であることの説明があった。

議題 3. 本年度から 2025 年度にかけての活動計画について

2023 年度の DRP 検討委員会および JP-DRP 裁定例検討専門家チームの活動を通じて JP-DRP 裁定検索システムが構築された後には、同システムの普及啓発とレビュー、手続関係者向けの情報提供（ガイド）を提供する必要性などが将来的な課題として認識されており、2023 年度を継承して目下 2024 年度の活動を行っているところである。活動のボリュームが大きく、2025 年度にかけて活動が継続する見込みが高いため、方向性について次のように共通認識を図った。

- 来年 2025 年は、JP-DRP の採択（2000 年 7 月公開、2000 年 10 月施行）から 25 周年の節目の年となる。目下進めている「JP-DRP 解説」の改定と 2019 年以降の裁定文レビューを完成させて、25 周年記念シンポジウムの開催を視野に入れて進めるといいのではないかと。
→ シンポジウムの開催イメージを、次回の会合までに JPNIC 事務局で用意する。

- DRP を扱った書籍は「ドメインネーム紛争（2001年12月15日出版、弘文堂）くらいで著しく少なく、裁判所が「JP-DRP 解説」を参照しているケースがあるようだが、それも 2008 年 3 月発行と古い。2025 年度までの活動内容を踏まえて、書籍化するのも一案ではないか。「JP-DRP 解説」の改定と 2019 年以降の裁定文レビューだけでもかなりの作業量になるので、2025 年度は並行して企画・執筆を進めるとしても、出版できるのは 2026 年度に入ってからではないか。

議題 4. その他

- JP-DRP 紛争処理機関における手続きの簡略化案について

JIPAC における ADNDRC との提携の検討をきっかけに、JIPAC 内で行っている手続き処理についても WIPO や ADNDRC で行われているグローバルベースにあわせていきたい、つまりはクラウドサービスを利用した現在の手続きを簡略化したい旨が示された。ついては改善提案を提出予定であることが山口委員より共有された。またそれに伴い、JP-DRP 手続規則の改正も提案する可能性があることが説明された。内容と進め方については、メールベースで話を進め、次回の委員会で議論することが確認された。

- 次回検討委員会会議は、2024 年 12 月 4 日(水)10:00～12:00 に開催することとする。

以上をもって、井上委員長により会議は 15 時 10 分に閉会された。

以上